



地域とのつながりを大切に

校長 竹下 護



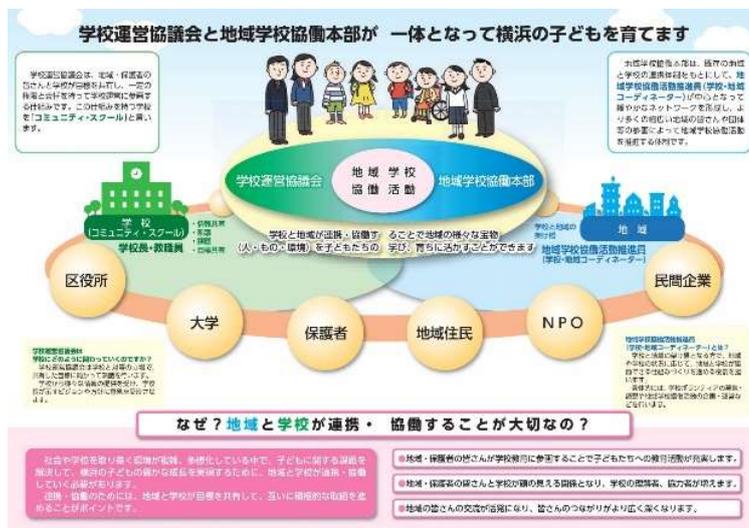
あっという間に梅雨が明けてしまいました。教材園では夏野菜が実り、アサガオの花も毎朝大きく開いています。学校では、汗まみれで登校してくる子どもたちを、ミスト状のシャワーを2か所用意して迎えています。学年ごとに行う水泳学習も、今年度は計画通り実施できそうです。



さて、本校は「学校運営協議会」を設置し、学校運営の基本方針の承認や意見交換などを行い、学校と地域住民や保護者が協働して学校運営を進めています。学校運営協議会は、町内会長や主任児童委員などの地域住民、PTAやおやじの会の代表、学校地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）、キッズクラブ主任、笹下中学校長等の委員で組織しています。6月9日（木）に今年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。令和4年度の学校運営の方針や具体的な取組について学校のそれぞれの担当者が説明し、ご承認をいただきました。委員の皆様には、学校教育目標「ぐんぐん にっこにっこ きらきら輝く上小の子」の実現を目指した学校運営に参画し、授業や行事を参観するなどして、ご意見を伺ったり評価していただいたりします。

また、本校は「上小スマイル（地域学校協働本部）」の組織もあります。どちらも右の図にあるように、学校と地域が連携・協働することで地域の様々な宝物（人・もの・環境）を上小の子の学び、育ちに生かしていくための組織です。本校はこのような教育環境が整っています。

今後も、学校教育目標「ぐんぐん にっこにっこ きらきら輝く上小の子」の実現に向け、感染症対策を講じながら、学校の子どもたちと教職員が保護者や地域の皆様とつながり、よりよい教育活動をつくりだしていきます。各クラスでは、生活科や総合的な学習の時間（上小タイム）も、地域のよさを生かす工夫した活動を計画・実施しています。引き続き、ご理解・ご協力をお願いします。



リーフレット「地域とともに子どもを育む学校づくり」（令和2年度版）横浜市教育委員会 より



※ 横浜市の学校・地域連携推進について、詳しくはこちらをご参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiikirenkei/gakkoushien.html>